

1.	④	11.	④	21.	④	31.	②	41.	①
2.	②	12.	④	22.	③	32.	②	42.	①
3.	②	13.	①	23.	②	33.	②	43.	④
4.	②	14.	③	24.	②	34.	③	44.	③
5.	③	15.	④	25.	②	35.	③	45.	③
6.	④	16.	①	26.	②	36.	④	46.	②
7.	①	17.	②	27.	②	37.	①	47.	③
8.	①	18.	④	28.	①	38.	③	48.	②
9.	④	19.	④	29.	②	39.	②	49.	③
10.	②	20.	③	30.	③	40.	①	50.	③

1.

解答 ④

【解説】

「出席者」という意味に最も近い英単語は④の **attendee** です。会議やイベント、セミナーなどに参加している人を指します。例えば、「会議の出席者は全部で 50 人だった」のように使います。他の選択肢について、① **attendant** は「係員、接客係」、② **attention** は「注意」、③ **attitude** は「態度」という意味です。

◆補足：動詞 **attend**（～に出席する）から派生した言葉です。接尾辞 **-ee** は「～される人」という意味を持ち、行為の受け手を表します（例：**employee** 従業員、**interviewee** 面接される人）。これに対し、**-ant** や **-or** は「～する人」という行為者を表すことが多いです（例：**attendant** 係員、**visitor** 訪問者）。

2.

解答 ②

【解説】

「対照的に」という意味に最も近い英語表現は②の **in contrast** です。二つの物事の中に明確な違いがあることを示す際に使われる接続副詞的な表現です。例えば、「兄は背が高い。対照的に、弟は背が低い」のように用います。他の選択肢について、① **in conclusion** は「結論として」、③ **in consequence** は「その結果として」、④ **in contact** は「連絡を取って、接触して」という意味です。

◆補足：**in contrast** は、文頭や文中で使われます。**in contrast to ～** や **in contrast with ～** の形で、「～とは対照的に」という意味で使われることも多いです。名詞 **contrast** は「対照、差異」、動詞 **contrast** は「～を対照する」という意味です。

3.

解答 ②

【解説】

「標的、目標」という意味に最も近い英単語は②の **target** です。攻撃や非難の対象となるものや、達成しようと目指す到達点を指します。例えば、「売上目標」は **a sales target** と表現します。他の選択肢について、① **talent** は「才能」、③ **ticket** は「切符」、④ **towel** は「タオル」を意味します。

◆補足：**target** は、元々弓矢などの練習で使われる「的」を指す言葉でした。そこから比喩的に、ビジネスや計画における「目標」や、マーケティングにおける「対象顧客」など、幅広い意味で使われるようになりました。動詞としても「～を標的にする」という意味で使われます。

4.

解答 ②

【解説】

「負担、重荷」という意味に最も近い英単語は②の **burden** です。運ばなければならない重い荷物や、精神的・経済的に重くのしかかる責任や義務などを指します。例えば、「財政的負担」は **a financial burden** と表現します。他の選択肢について、① **border** は「国境」、③ **bargain** は「お買い得品、取引」、④ **bureau** は「(官庁の)局」という意味です。

◆補足：**burden** は、動詞として「～に重荷を負わせる」という意味でも使われます。**a burden on** ～の形で、「～にとっての負担」という表現もよく用いられます。

5.

解答 ③

【解説】

英単語「**environmental**」は、「環境の」という意味の形容詞です。自然環境や、人間の活動がそれを与える影響に関連することを指します。例えば、「環境問題」は **environmental issues**、「環境保護」は **environmental protection** と表現します。選択肢①「政府の」は **governmental**、②「偶然の」は **accidental**、④「感情の」は **emotional** です。

◆補足：**environmental** は、名詞 **environment** (環境) に、形容詞を作る接尾辞 **-al** が付いた形です。近年、環境問題への関心の高まりと共に、ニュースや学術論文で非常に頻繁に使われる単語となっています。

6.

解答 ④

【解説】

英単語「temporary」は、「一時的な、臨時の」という意味の形容詞です。永続的ではなく、限られた期間だけ続くことを表します。例えば、「一時的な仕事」は a temporary job、「臨時の解決策」は a temporary solution と表現します。選択肢①「現代的な」は contemporary、②「伝統的な」は traditional、③「退屈な」は tedious や boring です。

◆補足：temporary の対義語は permanent（永久的な、常設の）です。この二つは対で覚えることが重要です。副詞形は temporarily（一時的に）です。語源はラテン語の tempus（時間）であり、time と同じルーツを持っています。

7.

解答 ①

【解説】

「～が誰[何]であるか特定する、～の正体を見分ける」という意味に最も近い英単語は①の identify です。ある人や物が、まさにその人・物であることを認識し、証明することを指します。例えば、「警察は容疑者を特定した」のように使います。他の選択肢について、② idealize は「～を理想化する」、③ ignore は「～を無視する」、④ imitate は「～を模倣する」という意味の動詞です。

◆補足：identify の名詞形は identification（身元確認、同一であることの証明）と identity（身元、正体、アイデンティティ）の二つがあり、文脈による使い分けが重要です。identification card (ID card) は「身分証明書」を意味します。

8.

解答 ①

【解説】

「書類、文書」という意味に最も近い英単語は①の document です。情報や証拠を提供する、書かれたり印刷されたりした公式な紙片や電子ファイルを指します。例えば、「重要書類」は an important document と表現します。他の選択肢について、② department は「部門、学部」、③ dormitory は「寮」、④ donation は「寄付」を意味します。

◆補足：document は動詞としても使われ、その場合は「～を記録する」という意味になります。また、documentary は形容詞として「記録の」、名詞として「記録映画、ドキュメンタリー」を意味する重要な派生語です。

9.

解答 ④

【解説】

「～を印刷する」という意味に最も近い英単語は④の **print** です。プリンターなどの機械を使って、文字や画像を紙などに写し出すことを指します。例えば、「この書類を印刷してください」は **Please print this document.** と表現します。他の選択肢について、① **paint** は「～にペンキを塗る、～を描く」、② **plant** は「～を植える」、③ **point** は「～を指し示す」という意味です。

◆補足：**print** は名詞としても使われ、「印刷、印刷物」を意味します。関連語として、**printer**（プリンター）、**printing**（印刷術）などがあります。**in print** は「出版されて、絶版にならずに」、**out of print** は「絶版で」という意味の重要な熟語です。

10.

解答 ②

【解説】

英単語「**rise**」は、「上がる、昇る、増加する」という意味の自動詞です。目的語を必要とせず、主語自体が上方へ移動したり、数量が増えたりすることを表します。例えば、「太陽が昇る」は **The sun rises.** と表現します。選択肢③「～を上げる」は他動詞の **raise** で、目的語が必要です（例：**raise your hand** 手を上げる）。①「横たわる」は **lie**、④「～を置く」は **lay** で、これらも自動詞と他動詞の混同しやすいペアです。

◆補足：**rise** の動詞活用は **rise-rose-risen** という不規則変化をします。名詞としても「上昇、増加」という意味で使われます（例：**a rise in prices** 物価の上昇）。

11.

解答 ④

【解説】

英単語「**local**」は、「地元の、その土地の」という意味の形容詞です。特定の地域や場所に関連していることを示します。例えば、「地元の新聞」は **a local newspaper**、「地元住民」は **local residents** と表現します。選択肢①「論理的な」は **logical**、②「忠実な」は **loyal**、③「声の」は **vocal** です。

◆補足：**local** は名詞としても使われ、「地元の人」を意味します。副詞形は **locally**（地元で）です。語源はラテン語で「場所」を意味する **locus** で、**location**（場所、位置）と同じルーツを持っています。

12.

解答 ④

【解説】

英単語「**appropriate**」は、「適切な、ふさわしい」という意味の形容詞です。特定の状況や目的、場所などに合っていることを示します。例えば、「その場にふさわしい服装」は **appropriate clothes for the**

occasion と表現します。選択肢①「おおよその」は approximate、②「明らかな」は apparent、③「正確な」は accurate です。

◆補足：appropriate の対義語は、否定の接頭辞 in- を付けた inappropriate（不適切な）です。副詞形は appropriately（適切に）です。発音は /ə'prɒpriət/（アプロウプリエト）で、アクセントの位置に注意しましょう。

13.

解答 ①

【解説】

「正確さ、精度」という意味に最も近い英単語は①の accuracy です。情報や測定値などが、間違いなく正しい度合いを指します。例えば、「その情報の正確さを確認する」は check the accuracy of the information と表現します。他の選択肢について、② agency は「代理店」、③ anxiety は「不安、心配」、④ adequacy は「妥当性、十分であること」を意味します。

◆補足：accuracy は、形容詞 accurate（正確な）の名詞形です。ラテン語の cura（注意、世話）が語源となっており、「注意を払うこと」が「正確さ」につながるというイメージを持つと理解しやすいです。

14.

解答 ③

【解説】

英単語「database」は、「データベース」という意味の名詞です。コンピュータシステム内に、検索や変更が容易にできるように整理して保存された、大量の情報やデータを指します。例えば、「顧客データベース」は a customer database と表現します。選択肢①「日付印」は date stamp、②「論争」は debate、④「基本データ」は basic data です。

◆補足：database は、data（データ）と base（基地、基盤）が組み合わさった複合名詞です。情報技術（IT）の分野における基本的な概念であり、現代社会の様々なシステムを支えています。

15.

解答 ④

【解説】

「百万長者、大富豪」という意味に最も近い英単語は④の millionaire です。百万ドル（またはポンドなど）以上の資産を持つ非常に裕福な人を指します。例えば、「彼は若くして百万長者になった」のように使います。他の選択肢について、① missionary は「宣教師」、② minister は「大臣、牧師」、③ merchant は「商人」を意味します。

◆補足：millionaire は、数字の million（百万）に、人を表す接尾辞 -aire が付いた形です。この -aire はフランス語由来で、billionaire（億万長者）のように他の単語でも見られます。

16.

解答 ①

【解説】

「～に対して責任がある」という意味に最も近い英語表現は①の **be responsible for** です。何かを行う義務があることや、起こった出来事の原因であることを示します。例えば、「彼はその事故の責任を負っている」のように使います。他の選択肢について、② **be responsive to** は「～によく反応する」、③ **be related to** は「～に関係がある」、④ **be ready for** は「～の準備ができている」という意味です。

◆補足：**be responsible for** は、仕事上の「職務」を表す場合と、悪い結果に対する「原因・非難の対象」を表す場合があります。名詞形は **responsibility**（責任）です。

17.

解答 ②

【解説】

英単語「**unique**」は、「独特の、他に類を見ない、唯一の」という意味の形容詞です。他とは全く違う、ただ一つしか存在しないという性質を表します。例えば、「独特なデザイン」は **a unique design** と表現します。選択肢①「統一された」は **united**、③「不必要な」は **unnecessary**、④「不確かな」は **uncertain** です。

◆補足：**unique** の語源は、ラテン語で「1」を意味する **unus** です。このため、本来は「唯一無二」という意味であり、比較級や最上級（**more unique, the most unique**）や、**very** のような強調語とは一緒に使わないのが正式な用法とされています。

18.

解答 ④

【解説】

英単語「**temporarily**」は、「一時的に、臨時に」という意味の副詞です。永続的ではなく、限られた期間だけ物事が続く様子を表します。例えば、「その店は改装のため一時的に閉まっている」のように使います。選択肢①「現代的に」は **contemporarily**、②「誘惑するように」は **temptingly**、③「恐ろしく」は **terribly** や **horribly** です。

◆補足：**temporarily** は、形容詞 **temporary**（一時的な）の副詞形です。対義語は **permanently**（永久に）です。ラテン語で「時間」を意味する **tempus** が語源であり、英語の **time** や **tense**（時制）とも関連があります。

19.

解答 ④

【解説】

「集中する」という意味に最も近い英単語は④の **concentrate** です。注意や思考を一つのことだけに注ぐことを指します。通常、**concentrate on** ～ の形で「～に集中する」と使われます。例えば、「勉強に集中する」は **concentrate on my studies** と表現します。他の選択肢について、① **celebrate** は「～を祝う」、② **hesitate** は「ためらう」、③ **separate** は「～を分ける」という意味です。

◆**補足**：類義語の **focus on** ～ も「～に集中する」という意味で、**concentrate on** ～ とほぼ同じように使えます。**concentrate** には元々「中心に集める」という意味があり、そこから「注意を集める」という意味に発展しました。このため、「濃縮ジュース」を **concentrated juice** というように、「～を濃縮する」という意味もあります。

20.

解答 ③

【解説】

英単語「**qualified**」は、「資格のある、適任の」という意味の形容詞です。特定の仕事や活動を行うために必要な技能や知識、経験を持っていることを示します。例えば、「資格のある看護師」は **a qualified nurse** と表現します。選択肢①「量の多い」は **quantitative**、②「静かな」は **quiet**、④「素早い」は **quick** です。

◆**補足**：**qualified** は、動詞 **qualify**（～に資格を与える）の過去分詞形が形容詞として使われているものです。名詞形は **qualification**（資格、能力）です。**be qualified for** ～（～の資格がある）という形でよく使われます。

21.

解答 ④

【解説】

「親しみやすい、人懐っこい」という意味に最も近い英単語は④の **friendly** です。親切で感じの良い態度を表す形容詞です。例えば、「親しみやすい笑顔」は **a friendly smile** と表現します。他の選択肢はすべて副詞で、① **frequently** は「頻繁に」、② **freely** は「自由に」、③ **firmly** は「堅く、断固として」という意味です。

◆**補足**：**friendly** は、**-ly** で終わる単語ですが、副詞ではなく形容詞である点に注意が必要です。これは、名詞 **friend** に **-ly** が付いているためです。副詞として「親しげに」と言いたい場合は、**in a friendly way** や **in a friendly manner** のように表現します。

22.

解答 ③

【解説】

「効率的に」という意味に最も近い英単語は③の **efficiently** です。時間・お金・エネルギーなどを無駄にすることなく、うまく機能する方法で、ということの意味します。例えば、「チームは効率的に働いた」のように使います。他の選択肢について、① **effectively** は「効果的に」、② **sufficiently** は「十分に」、④ **frequently** は「頻繁に」という意味の副詞です。

◆**補足**：**efficiently**（効率的に）と **effectively**（效果的に）の区別は重要です。**efficiently** が「無駄なく（プロセス）」を指すのに対し、**effectively** は「望む結果を出して（結果）」を指します。例えば、無駄なエネルギーを大量に使って目標を達成した場合、それは **effective** ですが **efficient** ではありません。

23.

解答 ②

【解説】

英単語「**maintenance**」は、「維持、整備」という意味の名詞です。建物や機械などが良い状態であり続けるように、定期的に点検・修理を行う作業を指します。例えば、「車の整備」は **car maintenance**、「維持費」は **maintenance costs** と表現します。選択肢①「重要性」は **importance**、③「知性」は **intelligence**、④「影響」は **influence** です。

◆**補足**：**maintenance** は、動詞 **maintain**（～を維持する）の名詞形です。**maintain** には「（～が事実だと）主張する」という意味もあるため、文脈に応じた解釈が必要です。

24.

解答 ②

【解説】

英単語「**flexible**」は、「柔軟な、融通の利く」という意味の形容詞です。状況に応じて容易に変化したり、対応したりできる様子を表します。物理的に「曲げやすい」という意味でも使われます。例えば、「柔軟な勤務時間」は **flexible work hours** と表現します。選択肢①「高価な」は **expensive**、③「形式的な」は **formal**、④「熱心な」は **enthusiastic** です。

◆**補足**：**flexible** の名詞形は **flexibility**（柔軟性）、対義語は、否定の接頭辞 **in-** を付けた **inflexible**（柔軟性のない、頑固な）です。

25.

解答 ②

【解説】

英語表現「in detail」は、「詳細に、詳しく」という意味の副詞句です。物事の細かな点まですべて含めて説明したり、検討したりする様子を表します。例えば、「計画を詳細に説明する」は **explain the plan in detail** と表現します。選択肢①「実際には」は **in reality**、③「要するに」は **in short**、④「担当して」は **in charge of** ～ が対応します。

◆補足：この表現は、動詞の後ろに置かれることが多く、その動詞の動作がどの程度詳しいかを示します。名詞の **detail**（詳細）を使った表現で、**in great detail** のように **great** を加えて「非常に詳しく」と強調することもできます。

26.

解答 ②

【解説】

「…ということを確かめる」という意味に最も近い英語表現は②の **make sure that** です。間違いや勘違いがないように、念のため確認する行為を表します。**that** の後には主語と動詞が続く文が来ます。例えば、「ドアに鍵をかけたか確かめてください」のように使います。他の選択肢について、① **point out that** は「…ということを指摘する」、③ **figure out that** は「…ということを理解する」、④ **turn out that** は「…ということが判明する」という意味です。

◆補足：**make sure** は、**that** 節の代わりに **of** + 名詞を続けて、**make sure of the time**（時間を確認する）のように使うこともできます。**confirm** よりも口語的で、日常会話で非常によく使われる便利な表現です。

27.

解答 ②

【解説】

「～を拡大する、広げる」という意味に最も近い英単語は②の **expand** です。サイズ、数量、範囲、重要性などが増すことを指します。自動詞としても他動詞としても使われます。例えば、「事業を海外に拡大する」は **expand a business overseas** と表現します。他の選択肢について、① **expend** は「(時間・労力など)を費やす」、③ **extend** は「(期間・長さ)を延長する、伸ばす」、④ **expect** は「～を期待する」という意味です。

◆補足：**expand**, **expend**, **extend** はスペルが似ており混同しやすいので注意が必要です。**expand** は「広がる(面積・体積)」、**extend** は「伸びる(長さ・時間)」とイメージで区別すると良いでしょう。名詞形は **expansion** (拡大) です。

28.

解答 ①

【解説】

「～にざっと目を通す」という意味に最も近い英語表現は①の **look over** です。書類や報告書などを、間違いがないか、あるいは大まかな内容を把握するために素早く確認する行為を指します。例えば、「出発前に書類に目を通す」のように使います。他の選択肢について、② **look down on** は「～を見下す、軽蔑する」、③ **look up to** は「～を尊敬する」、④ **look after** は「～の世話をする」という意味です。

◆補足：look over は、read through（通読する）や examine（詳しく調べる）ほど時間をかけるのではなく、短時間で確認するニュアンスが強いです。over には「全体を覆う」イメージがあるため、「全体を上から眺める」→「ざっと目を通す」と連想すると覚えやすいでしょう。

29.

解答 ②

【解説】

「（仕事・義務）を遂行する、～を演じる」という意味に最も近い英単語は②の **perform** です。仕事や任務、約束などを「行う、果たす」という意味と、音楽や劇などを観客の前で「演じる、演奏する」という二つの主要な意味を持ちます。他の選択肢について、① **permit** は「～を許可する」、③ **perceive** は「～を認識する」、④ **persist** は「固執する、持続する」という意味です。

◆補足：perform の名詞形は **performance** で、「遂行、業績」や「演技、演奏」といった、動詞の二つの意味に対応する意味を持ちます。

30.

解答 ③

【解説】

英単語「**relationship**」は、「関係、関連」という意味の名詞です。二人以上の人や物事の間のつながりを指します。例えば、「彼らとの良好な関係を築く」は **build a good relationship with them** と表現します。選択肢①「指導力」は **leadership**、②「市民権」は **citizenship**、④「親族」は **relative** です。

◆補足：relationship は、名詞 **relation**（関係）に、状態を表す接尾辞 **-ship** が付いた形です。a **business relationship**（取引関係）、a **romantic relationship**（恋愛関係）のように、様々な種類の関係を表すことができます。

31.

解答 ②

【解説】

英単語「unlikely」は、「ありそうもない、起こりそうもない」という意味の形容詞です。何かが起こる可能性が低いことを示します。例えば、「彼が時間通りに来ることはありそうもない」は **It is unlikely that he will come on time.** と表現します。選択肢①「好ましくない」は **unpleasant**、③「無制限の」は **unlimited**、④「親しみがない」は **unfriendly** です。

◆補足：unlikely は、否定の接頭辞 **un-** と、形容詞 **likely**（ありそうな）が組み合わさってできています。対義語は **likely** です。**be unlikely to do**（～しそうもない）の形も頻繁に使われます。

32.

解答 ②

【解説】

英語表現「as follows」は、「次の通り」という意味で、リストや説明を導入する際に使われる定型表現です。コロン（:）を伴って、具体的な内容を続けるのが一般的です。例えば、「理由は次の通りです」は **The reasons are as follows: ...** と表現します。選択肢①「～と同時に」は **as soon as**、③「～である限り」は **as long as**、④「～もまた」は **as well** です。

◆補足：この表現の **follows** は、常に三単現の **-s** が付いた形になることに注意が必要です。これは、**it follows as ...** という文の **it** が省略された、非人称構文の名残とされています。

33.

解答 ②

【解説】

「何とか～をやり遂げる」という意味に最も近い英単語は②の **manage** です。**manage to do** の形で、困難なことを努力の末に成功させることを表します。例えば、「彼は何とか最終電車に間に合った」は **He managed to catch the last train.** と表現します。他の選択肢について、① **damage** は「～に損害を与える」、③ **imagine** は「～を想像する」、④ **arrange** は「～を手配する」という意味です。

◆補足：**manage** には、「～を経営する、管理する」というもう一つの重要な意味があります。**manager**（経営者）や **management**（経営）という名詞形と関連付けて覚えると良いでしょう。文脈によってどちらの意味かを判断する必要があります。

34.

解答 ③

【解説】

英語表現「**be engaged in** ～」は、「～に従事している、～に参加している」という意味です。仕事や活動に積極的に関わっている状態を表します。例えば、「彼は貿易に従事している」は **He is engaged in foreign trade.** と表現します。選択肢①「～と婚約している」は **be engaged to** ～ で、前置詞が **to**

になる点に注意が必要です。②「～に興味がある」は **be interested in** ～、④「～に巻き込まれている」は **be involved in** ～ が対応します。

◆補足：動詞の **engage** は「～に従事させる、関わらせる」という意味を持ち、その受け身形が **be engaged in** ～ となります。同じ **engage** を使った表現でも、前置詞が違っただけで意味が大きく変わるため、セットで覚えることが重要です。

35.

解答 ③

【解説】

「目的地」という意味に最も近い英単語は③の **destination** です。旅行や輸送における、最終的に到着する場所を指します。例えば、「最終目的地」は **the final destination** と表現します。他の選択肢について、① **distinction** は「区別」、② **description** は「描写、説明」、④ **determination** は「決意」という意味の名詞です。

◆補足：**destination** は、動詞 **destine**（～を運命づける）と関連があります。「運命づけられた場所」というイメージを持つと覚えやすいかもしれません。**tourist destination**（観光地）という複合語もよく使われます。

36.

解答 ④

【解説】

「期待、予想」という意味に最も近い英単語は④の **expectation** です。将来何かが起こるだろう、あるいはそうあるべきだという強い信念や見込みを指します。例えば、「期待に応える」は **meet expectations** と表現します。他の選択肢について、① **exception** は「例外」、② **explanation** は「説明」、③ **exploration** は「探検」という意味で、スペルが似ているため注意が必要です。

◆補足：**expectation** は、動詞 **expect**（～を期待する、予期する）の名詞形です。**live up to one's expectations**（～の期待に応える）や **beyond one's expectations**（期待以上に）といった表現も重要です。

37.

解答 ①

【解説】

英単語「**leadership**」は、「指導力、統率力」という意味の名詞です。グループや組織を導く能力や、指導者としての資質を指します。例えば、「優れた指導力を示す」は **show great leadership** と表現します。選択肢②「市民権」は **citizenship**、③「関係」は **relationship**、④「友情」は **friendship** です。これらは全て状態や性質を表す接尾辞 **-ship** が付く名詞です。

◆補足：leadership は、leader（指導者）という名詞に、状態や性質を表す接尾辞 -ship が付いてきています。リーダーに求められる能力や、指導者たちが集まった「指導部」そのものを指すこともあります。leadership skills（指導者の技能）という表現もよく使われます。

38.

解答 ③

【解説】

英語表現「catch up」は、「追いつく」という意味です。先行する人や物に到達することや、遅れていた仕事や情報を取り戻すことを指します。通常、catch up with ～ の形で使われます。例えば、「彼に追いつくために速く走った」は I ran fast to catch up with him. と表現します。選択肢①「捕まえる」は catch、②「見上げる」は look up、④「迎えに行く」は pick up です。

◆補足：catch up は、物理的な移動だけでなく、「(会話で) 近況を報告し合う」という意味でも使われます。例えば、"Let's have coffee and catch up."（コーヒーでも飲みながら近況を話そうよ）のように、しばらく会っていなかった友人との会話でよく使われます。

39.

解答 ②

【解説】

「反対する」という意味に最も近い英単語は②の object です。計画や意見などに対して、同意できないと述べることを指します。object to ～ の形で使われることが非常に多いです。例えば、「私はその計画に反対します」は I object to the plan. と表現します。他の選択肢について、① observe は「～を観察する」、③ obtain は「～を得る」、④ occupy は「～を占める」という意味です。

◆補足：object は、動詞として使う場合は /əb'dʒekt/（オブジェクト）のように後ろにアクセントが置かれ、「反対する」という意味になります。一方、名詞として使う場合は /'ɒbdʒɪkt/（オブジェクト）のように前にアクセントが置かれ、「物、対象」という意味になります。この品詞によるアクセントの変化は非常に重要です。

40.

解答 ①

【解説】

英単語「blanket」は、「毛布」という意味の名詞です。ベッドで使う厚手の暖かい寝具を指します。例えば、「毛布にくるまる」は wrap oneself in a blanket と表現します。選択肢②「空白」は blank、③「籠」は basket、④「予算」は budget です。

◆補足：blanket は、動詞として「～を（すっかり）覆う」という意味も持ちます（例：The city was blanketed in snow. その街は雪に覆われていた）。また、形容詞としては「包括的な、全面的な」という意味で使われることもあります（例：a blanket ban 全面禁止）。

41.

解答 ①

【解説】

「従業員」という意味に最も近い英単語は①の **employee** です。お金を支払われて、誰か（雇用主）のために働く人を指します。例えば、「正社員」は **a full-time employee** と表現します。他の選択肢について、② **employer** は「雇用主」で、**employee** の対義語です。③ **engineer** は「技術者」、④ **envelope** は「封筒」を意味します。

◆補足：動詞 **employ**（～を雇う）から派生した単語です。接尾辞 **-ee** は「～される人」を意味し、行為の受け手を表します。一方、**-er** は「～する人」を意味するため、**employ** に **-er** が付いた **employer** は「雇う人」＝「雇用主」となります。この **-ee** と **-er** の違いは、他の単語（例：interviewee と interviewer）でも見られる重要なパターンです。

42.

解答 ①

【解説】

「（技術など）を習得する、～に完全に精通する」という意味に最も近い英単語は①の **master** です。難しい技能や学問分野などを、完全に自分のものにすることを指します。例えば、「彼はすぐにその技術を習得した」のように使います。他の選択肢について、② **muster** は「（勇気など）を奮い起こす」、③ **matter** は動詞で「重要である」、④ **monitor** は「～を監視する」という意味です。

◆補足：**master** は名詞として「主人、名人、修士」などの意味も持ちます。動詞の「習得する」は、この「名人になる」というイメージから来ています。名詞形は **mastery** で、「熟達、完全な知識」を意味します。

43.

解答 ④

【解説】

英単語「**digital**」は、「デジタルの」という意味の形容詞です。コンピュータのように、情報を 0 と 1 の数字（digit）の組み合わせで処理・表示する方式を指します。例えば、「デジタルカメラ」は **a digital camera**、「デジタル時代」は **the digital age** と表現します。選択肢①「遠い」は **distant**、②「異なる」は **different**、③「勤勉な」は **diligent** です。

◆補足：digital の語源である digit は、元々「指」を意味し、指で数を数えることから「数字」という意味も持つようになりました。対義語は analog（アナログ）で、連続的な量で情報を表現する方式を指します。

44.

解答 ③

【解説】

英語表現「lay off ～」は、「～を一時解雇する」という意味です。特に、会社の業績不振などが原因で、従業員に非がないにもかかわらず解雇することを指します。例えば、「その会社は何百人もの従業員を一時解雇した」のように使います。選択肢①「～を延期する」は put off ～、②「～を断る」は turn down ～、④「～をやめる」は quit や stop doing です。

◆補足：lay off は、従業員自身の問題が原因で解雇する fire とは区別されます。名詞形は layoff で、「一時解雇」を意味します。また、口語では「(～を) やめる、控える」という意味でも使われます（例：You should lay off junk food.）。

45.

解答 ③

【解説】

英語表現「so far」は、「これまでのところ、今までのところ」という意味です。過去のある時点から現在までを範囲として、「現時点では」という状況を述べる際に使われます。現在完了形と共に用いられることが多いのが特徴です。例えば、「これまでのところ、全て順調です」は Everything has been fine so far. と表現します。選択肢①「遠くまで」は far away、②「ずっと良い」は so much better、④「非常に」は so very などが対応します。

◆補足：会話でよく使われる "So far, so good." は、「今のところ順調だよ」という意味の決まり文句です。

46.

解答 ②

【解説】

英単語「fairly」は、「かなり、まあまあ」という意味の副詞です。「とても」というほどではないが、ある程度の水準には達していることを示します。例えば、「その試験はかなり難しかった」は The exam was fairly difficult. と表現します。選択肢①「めったに～ない」は rarely、③「ほとんど」は nearly や almost、④「主に」は mainly です。

◆補足：fairly は、同じく「かなり」と訳される rather と比べて、客観的で中立的なニュアンスを持ちます。一方、rather は話者の驚きや意外性といった主観的な感情を含むことがあります。また、形容詞 fair（公正な）から派生した「公正に」という意味もあります。

47.

解答 ③

【解説】

「説明、報告」という意味に最も近い英単語は③の account です。「銀行口座」という意味が最もよく知られていますが、「(出来事の) 説明、報告、記事」という意味も非常に重要です。例えば、「目撃者の説明」は an eyewitness account と表現します。他の選択肢について、① amount は「量」、② announcement は「発表」、④ achievement は「達成」です。

◆補足：「説明」という意味の account は、take ~ into account (～を考慮に入れる) や on account of ~ (～の理由で) といった重要な熟語で使われます。様々な意味を持つ多義語なので、文脈に応じて適切な意味を判断する能力が求められます。

48.

解答 ②

【解説】

英単語「workplace」は、「職場」という意味の名詞です。人々が雇用されて仕事をする建物や部屋、あるいはオフィスや工場そのものを指します。例えば、「快適な職場環境」は a pleasant workplace environment と表現します。選択肢①「仕事量」は workload、③「労働者」は worker、④「作業場」は workshop です。これらは全て work に関連する単語なので、混同しないようにしましょう。

◆補足：workplace は、work（仕事）と place（場所）が組み合わさった複合名詞で、文字通り「仕事の場所」を意味します。

49.

解答 ③

【解説】

「～を計画する、準備する」という意味に最も近い英単語は③の organize です。イベントや活動などを、必要な手配をして体系的にまとめることを指します。例えば、「パーティーを計画する」は organize a party と表現します。他の選択肢について、① originate は「始まる、生じる」、② overlook は「～を見落とす」、④ order は「～を注文する、命令する」という意味です。

◆補足：organize は、「～を組織する、結成する」という意味も持ちます。名詞形は organization（組織、団体）です。語源は「器官、道具」を意味する organ であり、「各部分を機能的な全体へとまとめ上げる」というイメージが核となっています。

50.

解答 ③

【解説】

英単語「**airline**」は、「航空会社」という意味の名詞です。飛行機を使って人や貨物を運ぶサービスを提供する会社を指します。例えば、「格安航空会社」は **a low-cost airline** と表現します。選択肢①「飛行機」は **airplane** や **plane**、②「空港」は **airport**、④「航空便」は **airmail** や **air freight** です。これらは全て航空関連の単語なので、混同しないように正確に覚えましょう。

◆**補足**：airline は、air（空の）と line（路線、会社）が組み合わさった言葉です。
